

第1学年 国語科学習指導案

児童 1組 男子8名 女子11名 計19名
指導者 菊地 智子

- 1 単元名 くらべてよもう
教材名 「じどう車くらべ」 (光村図書 1年上)

2 単元の構成

(1) 教材について

本教材は、小学校第1学年及び第2学年の「C読むこと」の内容(1)のイ「時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」「B書くこと」の内容(1)のウ「自分の考えが明確になるように、簡単な組み立てを考えること。」を受け、「三種類の自動車について、仕事と作りの関係を考えながら内容の大体を読む」ことを目標としている。

本教材は、この時期の児童が、興味・関心を持つ自動車を取り上げた説明的な文章である。また、「いろいろなくちばし」で学んだ「問い→答え」という説明的な文章の基本的なパターンとその文型を踏まえ、「話題提示・問題提起→問題に対する説明」を、自動車の「しごと」と「つくり」という二つの事柄の因果関係で述べる形をとっており、児童が文章のまとまりを意識しやすい説明的な文章である。以上のことから、本教材は、児童が興味・関心をもちながら主体的に読み取りや表現活動をし、楽しい説明的な文章の読みを体得すると同時に、内容の大体を読み取るのに適した教材である。

(2) 児童について

7月に行った国語の意識アンケートの結果は次の通りである。

- ① 国語の勉強は好きですか。(「どちらかといえば」も含む)・・・・・・・・・・100%
- ② 説明文の学習は好きですか。(「どちらかといえば」も含む)・・・・・・・・・・100%
- ③ 説明文の学習で、自力で課題の答えを見つけられますか。・・・・・・・・・・84%
(「見つけることが多い」も含む)
- ④ 読書は好きですか。(「どちらかといえば」も含む)・・・・・・・・・・89%
- ⑤ 自分の考えを発表できますか。(「できるほう」も含む)・・・・・・・・・・84%

アンケートの結果を見ると、国語の学習に意欲的な児童が多いことが分かる。また、説明的な文章の学習についても興味を持って取り組んでいる様子が見える。

児童は、「いろいろなくちばし」の学習で、「問い→答え」という説明的な文章の基本的な形式について学習してきた。また、鳥のくちばしの特徴とその働きについて、挿絵や写真を手がかりにしながら内容の大体を読み取る学習も行った。しかし、断片的に読み取ったことから自分の思いを入れてしまい本文から離れてしまう児童や、語彙が少なく言葉の意味をなかなかイメージできない児童もいた。また、音読やひらがなの促音や長音、拗音の書きなどに個人差が大きく、自信がなくて発表できない児童も何人か見受けられる。

このことから、本教材では、音読やサイドライン・視写など書く活動を取り入れ、文末表現や接続語に気をつけてまとまりを読み取っていけるように学習展開を工夫していきたい。また、挿絵と本文を結びつけ、自動車の「しごと」と「つくり」を具体的にイメージできるような学び合いの場を作っていきたい。

(3) 指導にあたって

「つかむ」段階では、「いろいろなくちばし」で学習した「問い」と「答え」という形式を確認しながら文章構成の大体をおさえる。また、「じどう車ずかん」作りを活動のめあてとして提示し、意欲づけを図り、本や図鑑の紹介もしていきたい。そして、課題解決の見通しとして、自動車の「しごと」と「つくり」を読み取るという流れや、読み取りの手がかりとなる文章表現や接続語等を視覚的に掲示し、仮説1の〈板書構成の工夫〉に生かせるようにする。

「ふかめる」段階では、「しごとをしています」や「そのために、～あります・います」という表現に着目させ、「しごと」と「つくり」を繰り返し読み取らせていくことで、説明的な文章の構

成や言葉の使い方に慣れさせていきたい。また、「学び合い」の場面では、書かれている内容を具体的にイメージし深い読み取りができるように、仮説2の〈「学び合い」の場の工夫〉として、挿絵から分かったことや自分の経験などを出し合わせ、読み取ったことまとめていきたい。その際、文章に戻ることを意識させたい。

「ひろげる」段階では、学習した形式を使い、「しごと」と「つくり」を他の自動車について書く図鑑づくりを行い、学んだことを生かしていけるようにしたい。

また、仮説3の〈評価の積み重ね〉では、児童の発表を意欲づけたり価値づけたりすることによって、よりよい読みや表現に気づいていけるようにしていきたい。

3 単元の目標

◎ 自動車の仕事と作りの関係に興味をもって読み、ほかの自動車を説明する文章を書く。

〈国語への関心・意欲・態度〉

- ・乗り物の本などに興味をもち、探して読もうとする。

〈読む能力〉

- ・三種類の自動車について、仕事と作りの関係を考えながら内容の大体を読む。〔イ〕
- ・語や文のまとまりを考えながら声に出して読む。〔エ〕

〈書く能力〉

- ・教材文を参考にして、簡単な組み立てを考えて好きな自動車の仕事と作りを説明する文を書く。〔ウ〕

〈言語についての知識・理解・技能〉

- ・片仮名で書く語を読んだり書いたりする。〔イ（ア）〕

4 単元の指導計画と評価規準 (全10時間 「読むこと」6時間 「書くこと」4時間)

段階	時	主な活動内容	評価規準〈評価方法〉		
			国語への関心・意欲・態度	読む能力 書く能力	言語について 知識・理解・技能
つかかむ	1	○全文を通読し、学習の見通しをもつ。 ・挿絵や経験をもとに話し合い、「じどう車ずかん」を作る計画を立てる。 ・漢字の学習をする。	自動車について知っていることを発表しようとしている。 〈発言・態度〉	何の自動車を説明しているかとらえている。 〈発言〉	漢字や語句について理解している。 〈発言・音読〉 片仮名を正しく読んだり書いたりする。 〈発言・音読〉
	2	○文章構成をつかむ。 ・「問い」の文を読み取る。(段落①②) ・語句の学習をする。 ・音読練習をする。	進んで音読練習をしている。 〈態度〉	文のまとまりや「問い」と「答え」を理解している。 〈発言・ノート〉	指示語の指示内容を正しく押さえながら、話題提示文をとらえている。 〈発言・ノート〉 ・どんなしごとをしていますか。 ・そのために、どんなつくりになっていますか。

ふ か め る	3	○バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を理解する。(段落③④) ・1枚のカードに視写し、絵をかく。	バスや乗用車の「しごと」と「つくり」に関心を持ち、内容の大体を読もうとしている。 〈サイドライン・発言・カード〉	バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を結びつけながら、内容の大体を読み取っている。 〈サイドライン・発言・カード〉	文末や重要語句に気をつけて読んでいる。 〈発言・ノート〉 ・しごと ・つくり ・しごとをしています。
	4	○トラックの「しごと」と「つくり」を理解する。(段落⑤⑥) ・1枚のカードに視写し、絵をかく。	トラックの「しごと」と「つくり」に関心を持ち、内容の大体を読もうとしている。 〈サイドライン・発言・カード〉	トラックの「しごと」と「つくり」を結びつけながら、内容の大体を読み取っている。 〈サイドライン・発言・カード〉	・そのため、～あります。(なっています。) ・そのため ・ぎせき ・けしき
	5 (本時)	○クレーン車の「しごと」と「つくり」を理解する。(段落⑦⑧) ・1枚のカードに視写し、絵をかく。	クレーン車の「しごと」と「つくり」に関心を持ち、内容の大体を読もうとしている。 〈サイドライン・発言・カード〉	クレーン車の「しごと」と「つくり」を結びつけながら、内容の大体を読み取っている。 〈サイドライン・発言・カード〉	・にもつ ・うんてんせき ・にだい ・つりあげる ・じょうぶ ・のびたりうごいたり ・車たい ・しっかりしたあし
ま と め る	6	消防車について「しごと」と「つくり」を見つけて書く。	消防車の「しごと」と「つくり」に関心を持ち、説明の文章を書こうとしている。 〈発言・カード〉	消防車の「しごと」と「つくり」を見つけ、説明の文章をかいている。 〈カード〉	主語と述語の関係に注意しながら書いている。 〈カード〉
ひ ろ げ る	7 ・ 8	○自分の好きな自動車を選び、説明の文章を書く。 ・自動車についての本を読む。 ・下書きをする。	進んで本を探して読み、自分の好きな自動車についての説明の文章を書こうとしている。 〈態度・カード〉	調べたい部分を探し出して、本文を参考に組み立てを考え、「しごと」と「つくり」のわかる説明の文章を書いている。 〈観察・カード〉	主語と述語の関係に注意しながら書いている。 〈カード〉
	9	○清書して絵をかく。	楽しんでカードを仕上げようとしている。 〈態度・発言〉	組み立てに気をつけながら清書している。 〈カード〉	↓
	10	○友達と交換して読み合い、図鑑にまとめる。	友達の「じどう車ずかん」のよさを見つけようとしている。 〈態度・発言〉	友達のカードを「しごと」と「つくり」に気をつけながら読んでいる。 〈態度・感想〉	

5 本時の指導

(1) 目標

クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。

(2) 指導にあたって

○仮説1〈板書構成の工夫〉に関わって

課題解決の見通しをもたせるために、4時の読み取りをもとに学習課題をつかませ、「しごと」と「つくり」を読み取っていくという学習の見通しをもたせる。また、読み取りの手がかりとなる「しごとをしています。」「そのために、～あります。います。」等の文末表現を板書していく。まとめに使用したい語句は一目で分かるように色チョークを用いて強調する。

○仮説2〈学び合い〉に関わって

自動車の「しごと」と「つくり」を読み深めるために、いろいろな自動車パーツカードからクレーン車のパーツを選ばせる。そして、わけを話させることによって、「しごと」と「つくり」の関係を具体的にイメージできるような場としたい。その際、本文から離れないように、書かれていることをきちんと確認するようにする。また、前時までの自動車と比べることによって、自動車の「つくり」が「しごと」に関係していることに気づかせていきたい。

○仮説3〈一人一人の評価の積み重ね〉に関わって

課題に対する答えを見つけることができたか、考えを発表することができたかなど、振り返りと感想発表を行うことで、達成感を感じさせ、次時への意欲づけを図りたい。

(3) 展開

段階	学習内容と学習活動 (○発問・児童の反応)	一人	複数	全体	・留意点 評価 〈評価方法〉
つかむ	1 前時の学習を想起する。 ○ 前の時間は、何の自動車の学習をしましたか。 2 学習課題の確認をする。				・ 掲示物でトラックの「しごと」と「つくり」について確認する。「しごと」に合わせた「つくり」になっていることにもふれる。
3分	(クレーン車) は、どんなしごとをしていますか。そのためにどんなつくりになっていますか。				・ 本時で学習する自動車を確認し、課題へつなげる。
ふかめる	3 学習活動を確認し、課題解決の見通しをもつ。 ○ 手がかりになる言葉はなんですか。 ・ 「しごとをしています。」 ・ 「そのために～あります。」 4 クレーン車の「しごと」を読み取る。 ○ ⑧⑨段落を音読しましょう。 ◎ 「しごと」にサイドラインを引きましょう。 ・ クレーン車は、おもいものをつりあげるしごとをしています。 ◎ 何をつりあげるのですか。 ・ おもいもの ・ 鉄筋		一人	全体	・ 本時の学習の見通しがもてるように、読み取ることや手がかりの言葉を掲示し、板書する。 ・ 前時までの学習から「つくり」は二つあることを確認する。 ・ 「しごと」を確認し、教科書に赤でサイドラインを引くように指示する。〈教科書〉 ・ 記述内容を確認するために本文を音読するように指示する。

<p>37分</p>	<p>◎ つりあげるとはどういうことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ つってあげる ・ つり下げて、上に上げる <p>5 クレーン車の「つくり」を読み取る。</p> <p>◎ 「つくり」にサイドラインを引きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そのために、じょうぶなうでが、のびたりうごいたりするように、つくってあります。 ・ 車たいがかたむかないように、しっかりしたあしが、ついています。 <p>◎ まちがい探しをします。クレーン車はこれでいいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ じょうぶなうでをつける。 ・ うでがのびたりうごいたりするように。 ・ しっかりしたあしをつける。 <p>◎ クレーン車がこのような「つくり」になっているのはなぜですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おもいものをつりあげるから。 ・ 車たいがかたむかないように。 <p>○ 今まで学習してきた乗用車やバスと同じところ、違うところはどこでしょう。トラックと同じところ、違うところはどこでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バスや乗用車は人を運ぶ。 ・ 乗用車とタイヤの数は同じ。バスは多い。 ・ トラックも重いものを運ぶ。 ・ しっかりした足がついているけど、トラックはタイヤがたくさんついている。 ・ 荷物を運ぶから人が乗るところが狭い。 <p>6 課題についてまとめる。</p> <p>○ クレーン車の「しごと」と「つくり」についてまとめましょう。</p> <div data-bbox="260 1653 810 2047" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>しごと クレーン車は、おもいものをつりあげるしごとをしています。 そのために、 つくり① じょうぶなうでが、のびたりうごいたりするように、つくってあります。 つくり② 車たいがかたむかないように、しっかりしたあしが、ついています。</p> </div>	<p>一人学習</p>	<p>合 い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 挿絵と結びつける。 ・ 「つりあげる」の意味を確認する。 <p>学 び 合 い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「そのために、～います。」の文型を確認し、青で教科書にサイドラインを引くように指示する。 ・ 「つくり」は二つであることを確認する。〈教科書〉 ・ 自動車パーツカードの間違い探しを行うことによって、クレーン車の「つくり」に気づくことができるようにする。〈発言〉 ・ 「のびたりうごいたり」の意味を理解させるためにパーツを操作する。 ・ 「うで」「車たい」「あし」がどの部分か挿絵と関連づけて確認する。 ・ 「そのために」から板書で「つくり」と「しごと」をつなげる。 ・ 理由を話させることによって、本文や挿絵に着目させ、クレーン車と今まで学習してきたバスや乗用車、トラックと比べ、「しごと」と「つくり」の関係に気づけるようにする。 <div data-bbox="1002 1635 1441 2000" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A評価＝クレーン車の「しごと」と「つくり」についてまとめ、乗用車やバス、トラックと比べて気がついたことを書いている。</p> <p>Cへの支援＝板書の色枠の言葉を使ってまとめればよいことを示唆する。</p> </div> <p>〈自動車図鑑カード〉</p>

ま と め る 5 分	○ まとめを発表しましょう。			
	6 学習の振り返りをする。 ・ まとめと感想を発表する。			<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習を振り返ってマークをノートに書くことを指示する。 ・ 意欲等を配慮し、意図的に指名する。
	7 次時の学習を確認する。			<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防車について「しごと」と「つくり」を見つけて書くことを確認する。

《自己評価の観点》

- ① クレーン車の「しごと」と「つくり」が分かったか。
- ② 自分の考えを発表することができたか。
- ③ 友達の考えのいいところがわかったか。
- ④ 今日の学習は楽しかったか。

(4) 主な発問と板書計画

1年 「じどう車くらべ」(5/10時間目) 指導者 菊地 智子

本時の指導

- (1) 目標 クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。
- (2) 指導にあたって
 - 仮説1〈板書構成の工夫〉に関わって

課題解決の見通しをもたせるために、4時の読み取りをもとに学習課題をつかませ、「しごと」と「つくり」を読み取っていくという学習の見通しをもたせる。また、読み取りの手がかりとなる「しごとをしています。」「そのために、～あります。います。」等の文末表現を板書していく。まために使いたい語句は一目で分かるように色チョークを用いて強調する。
 - 仮説2〈学び合い〉に関わって

自動車の「しごと」と「つくり」を読み深めるために、いろいろな車のパーツカードからクレーン車のパーツを選ばせる。そして、わけを話させることによって、「しごと」と「つくり」の関係を具体的にイメージできるような場としたい。その際、本文から離れないように書いていることをきちんと確認するようにする。また、前時までの自動車と比べることによって、自動車の「つくり」が「しごと」に関係していることに気づかせていきたい。
 - 仮説3〈一人一人の評価の積み重ね〉に関わって

課題に対する答えを見つけることができたか、考えを発表することができたかなど、振り返りと感想発表を行うことで、達成感を感じさせ、次時への意欲づけを図りたい。

主発問等

〈つかむ〉

○前の時間は、何の自動車の学習をしましたか。

〈ふかめる〉

○手がかりになる言葉はなんでしょうか。

◎「しごと」にサイドラインを引きましょう。

◎何をとりあげるのですか。

◎とりあげるとはどういうことですか。

◎「つくり」にサイドラインを引きましょう。

◎まちがいを探します。クレーン車はこれでいいですか。

◎クレーン車がこのような「つくり」になっているのはなぜですか。

○今まで学習してきた乗用車やバスと同じところ、違うところはどこでしょう。トラックと同じところ、違うところはどこでしょう。

〈まとめる〉

○クレーン車の「しごと」と「つくり」についてまとめましょう。

○まとめを発表しましょう。

(板書計画)

じどう車くらべ
かだい

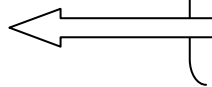
(クレーン車)は、どんなしごとをしていますか。そのためにどんなつくりになっていますか。

クレーン車の挿絵

自動車
パーツカード

そのために

おもいものをつりあげるしごと



- ① じょうぶなうでのびたりうごいたりする
- ② しっかりしたあし

車たいがかたむかないように

まとめ

クレーン車

絵

しごと

おもいものをつりあげるしごとをしています。

そのために、

つくり①

じょうぶなうでのびたりうごいたりするようにつくってあります。

つくり②

車たいがかたむかないように、しっかりしたあしが、ついています。

くらべてきがついたこと